

阪神・淡路大震災で亡くなった公立学校の教職員・児童生徒

教職員 22名

県立伊丹西高校	校長	60歳	男
北淡町立野島小学校	校長	59歳	男
神戸市立高羽小学校	校長	59歳	男
神戸市立ひよどり台小学校	教諭	59歳	男
県立神戸高校	教諭	58歳	男
神戸市立友生養護学校	教諭	57歳	女
神戸市立向洋中学校	教諭	55歳	男
県立芦屋南高校	教諭	54歳	男
神戸市立本山中学校	養護教諭	54歳	女
西淡町立丸山小学校	教頭	53歳	女
神戸市立霞ガ丘小学校	教諭	44歳	女
神戸市立平野小学校	養護教諭	43歳	女
西宮市立山口中学校	非常勤講師	43歳	女
神戸市立鶴越小学校	教諭	29歳	男
神戸市立福池小学校	教諭	25歳	女
西宮市立西宮西高校	事務長	56歳	男
芦屋市立潮見小学校	調理技師	47歳	女
神戸市立住吉小学校	技術職員	38歳	男
芦屋市立宮川幼稚園	教諭	33歳	女
神戸市立住吉台幼稚園	管理員	31歳	男
西宮市立神原小学校	事務員	23歳	女
尼崎市教育委員会	指導主事	45歳	女

児童生徒 296名

[神戸市] 187名								
幼稚園 4名				2年	男	住吉小	1年	女
御影幼	6歳	女		2年	女		4年	女
	6歳	女		5年	男		4年	女
神戸幼	6歳	女	本山第一小	6年	男		4年	女
深江幼	6歳	女		1年	男		5年	女
				3年	女		6年	女
				4年	男		6年	男
小学校 108名			本山第二小	1年	男		6年	女
東灘小	1年	女		5年	女		6年	男
	4年	女		5年	女	御影小	4年	男
	5年	女		6年	女		5年	女
本庄小	1年	男	本山第三小	1年	男		6年	男
	5年	男		3年	男		6年	女
福池小	3年	女		3年	男		6年	女
	5年	男		3年	女		6年	男
	5年	男		5年	男	御影北小	1年	女
魚崎小	2年	女		6年	女		1年	男

成徳小	3年	女	千歳小	2年	女	鷹取中	1年	女		
	5年	男		3年	女		2年	男		
	2年	男		6年	女		3年	男		
	3年	男		3年	女		3年	女		
	4年	女		3年	男		3年	女		
高羽小	5年	男	若宮小	1年	男	飛松中	1年	男		
	5年	女	西須磨小	3年	女		2年	女		
	5年	女		6年	男		1年	男		
	2年	女		6年	男		丸山中西野分校	2年*	女	
	3年	女		1年	女		高等学校 24名			
5年	男	1年		男	御影高	3年		女		
1年	男	2年	女	神戸高	1年	女				
2年	男	3年	女	東灘高	3年	女				
4年	男	6年	女	2年	女	神戸高塚高		2年	女	
西郷小	5年	男	中学校 47名			3年	女			
	2年	男	本庄中	1年	男	2年	女			
	4年	男	1年	男	2年	女	市立御影工高	3年	男	
	5年	男	2年	女	2年	女	3年	男		
	6年	女	2年	女	3年	男	1年	男		
灘小	6年	女	魚崎中	1年	男	〃赤塚山高	1年	男		
	6年	女		2年	女		2年	女		
	1年	男		2年	男		3年	女		
	3年	男		2年	女		〃葺合高	1年	男	
	5年	女		3年	女		2年	女		
西灘小	2年	男	本山南中	3年	男	〃神港高	1年	女		
	4年	女		1年	男		〃須磨高	2年	男	
	2年	男		3年	男		〃神戸工高	2年	女	
	4年	女		2年	男		〃神戸商高	1年	女	
	2年	男		1年	女		〃兵庫商高	2年	女	
摩耶小	2年	女	御影中	1年	女	〃摩耶兵庫高	4年	女		
	2年	女		2年	女		〃楠高	1年	女	
	2年	女		3年	女		養護学校 4名			
	1年	女		3年	女			市立友生養護	小学3年	女
	4年	女		1年	男			小学6年	女	
1年	女	2年	男	〃垂水養護	小学4年	女				
6年	男	1年	女	神戸養護	中学1年	男				
東山小	2年	女	本山中	2年	男	[西宮市] 59名				
	2年	女		3年	男		幼稚園 1名			
	6年	男		1年	男		高木幼	4歳	女	
	2年	男		住吉中	1年		女	小学校 35名		
	3年	女		1年	女		香榎園小		2年	女
3年	女	1年	男	3年	女					
4年	男	御影中	2年	女	3年	女				
4年	男	2年	女							
兵庫大開小	5年	男	鷹匠中	3年	女					
	1年	男		1年	女					
	2年	男		1年	女					
	5年	男		鳥帽子中	1年	女				
	6年	女		2年	女					
水木小	1年	女	布引中	3年	女					
	1年	女		1年	女					
	1年	女		神戸生田中	1年	女				
	1年	女		1年	男					
	1年	女		兵庫中	1年	女				
明親小	1年	女	西代中	2年	女					
	1年	女		2年	男					
	1年	女		2年	女					
	1年	女		2年	女					
	1年	女		2年	女					
池田小	1年	女	大橋中	3年	女					
	1年	女		3年	男					
	1年	女		1年	女					
	1年	女		3年	女					
	1年	女		1年	女					
蓮池小	1年	女	太田中	3年	女					
	1年	女		3年	男					
	1年	女		1年	女					
	1年	女								
	1年	女								
御蔵小	5年	女								
	3年	男								
	5年	男								
	6年	女								
	5年	女								
神楽小	3年	男								
	5年	男								
	6年	女								
	2年	女								

*昭和2年生まれ

	3年	男女	瓦木中	1年	女		2年	女
	3年	女		2年	女			
	5年	女		2年	女			
安井小	5年	男						
	4年	男	高等学校	3名			[伊丹市]	1名
段上小	3年	男	西宮高	1年	男	小学校	1名	
樋ノ口小	1年	男		3年	女	鈴原小	4年	男
	1年	男	西宮甲山高	2年	男			
	1年	女					[宝塚市]	7名
	4年	女				小学校	2名	
	5年	男女				仁川小	1年	女
	6年	女	[芦屋市]	34名		長尾小	6年	男
上甲子園小	6年	女	幼稚園	3名				
	6年	男	精道幼	4歳	女	中学校	4名	
大社小	1年	男		5歳	男	長尾中	1年	女
	1年	女		5歳	女		3年	女
	3年	男				宝塚中	3年	男
上ヶ原小	3年	女	小学校	12名		宝塚第一中	3年	女
広田小	6年	男女	精道小	1年	男			
	4年	女		2年	女	高等学校	1名	
高木小	2年	女		2年	女	宝塚北高	2年	女
	5年	男		4年	男女			
	5年	男		4年	女			
	6年	男		4年	男			
	6年	男		6年	女	[洲本市]	2名	
夙川小	1年	男		6年	女	小学校	1名	
	4年	女	宮川小	3年	女	洲本第三小	4年	女
甲東小	4年	女		5年	女			
平木小	1年	女		5年	女	中学校	1名	
	5年	男	打出浜小	5年	女	青雲中	2年	女
用海小	3年	女						
生瀬小	2年	女	中学校	7名				
	5年	女	精道中	1年	男	[北淡町]	3名	
				1年	女	小学校	3名	
中学校	20名			1年	女	富島小	5年	女
甲武中	3年	女		2年	男		4年	男
大社中	2年	女		3年	女	野島小	2年	男
	3年	女	山手小	1年	男女			
	3年	男		3年	女			
浜脇中	1年	男				[一宮町]	2名	
	1年	女	高等学校	12名		中学校	2名	
	2年	男	芦屋高	1年	女	宮中	3年	女
	2年	男		2年	女		1年	男
	3年	男		3年	女			
	3年	女	芦屋南高	1年	男女			
甲陵中	1年	女		1年	女	[東浦町]	1名	
	1年	女		2年	女	高等学校	1名	
	2年	男		2年	女	洲本実業高東浦分校	2年	男
	2年	男		2年	女			
	3年	女		2年	女			
平木中	3年	女		3年	男女			
深津中	3年	女	武庫高	1年	女			

※ 震災を直接の原因として、平成7年3月31日までに亡くなった方を掲載しました。

編集後記

阪神・淡路大震災は、兵庫の教育にどのような影響をもたらしたのか。震災直後の混乱が収まった頃から私どもはそのことに心をとらわれてきました。日に日に拡大していく被害の大きさに、どこからどう手をつければよいか、手をこまねく時期がありました。しかし、私どもは大震災が学校現場にもたらした被害と、被災当初から復旧、復興にいたる児童生徒、教職員、教育委員会などの行動や対応を可能なかぎり明らかにして、広く被災地内外の多くの皆さんに、この震災下の教育現場の状況を理解してほしいと考えたのです。

県教育委員会では、平成7年4月に学識経験者による防災教育検討委員会を設置し、被災地の各地域、学校の種類ごとに典型的な15の学校を防災教育協力校に指定しました。この協力校と教育委員会事務局で構成した三つの部会が、この震災に関する詳細な記録の収集を進めました。こうして集められた記録を中心として、市町教育委員会、学校、そして県民の皆さん方の協力を得て編集したのが本誌です。本文中に記載した各学校、児童生徒、教職員の方々のほか、数多くの皆さんから頂いた貴重なご協力に心から感謝申し上げます。

本誌の編集にあたっては、事実をありのままに、作文や手記はできるかぎり原文のまま掲載しようとしてきました。絵画などについても表現の巧拙ではなく、より多くの場面や段階にあるものを選択しました。

震災後、被災地のあちこちで、多くの涙が流れました。無念の涙の一粒一粒を教訓に変え、力に変え、失ったものをただ取り戻すのではなく、震災を生きた私たち一人ひとりが新たな教育の創造と、より一層のこころ豊かな人づくりに向けて歩み続けることこそが、あの尊い犠牲と熱い真心に応えうる唯一の道と思われてなりません。

本誌が兵庫の教育の復興と、すべての読者の皆さんの大震災に関する検討の素材として、いくばくかでもお役にたてれば、これに過ぎる喜びはありません。

兵庫県教育委員会

震災を生きて—記録・大震災から立ち上がる兵庫の教育—

発行日■平成8年1月17日

平成17年1月17日 再版

編集・発行■兵庫県教育委員会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

編集協力■株式会社 サンケイ広告西日本

印刷製本■大阪書籍株式会社

写真提供■産経新聞社

再版にあたっては、体裁・内容すべてを当時のまま復刻しています。